

みんなの県政

1976/6 No.89 富山



県の施設紹介シリーズ——衛生研究所(富山市大手町)
梅雨時を迎え、各家庭では食品の衛生管理に気をつかう季節になった。
写真は食品と食品添加物の調査研究をする化学部。

きょうはあたたかく日の光も強い
外へ出て元気に乾布まさつだ
イチニツ イチニツ



病気をなおしながら教育を

ふるさと養護学校を訪ねる

呉羽丘陵の緑豊かな環境の中で、ユニークな病弱教育をすすめる県立ふるさと養護学校。今月号は、昭和

49年に設立されたこの新しい学校の教育と、子ども達の生活ぶりを訪ねてみました。

県民の健康保持のために 衛生研究所

県民のからだの健康を守るために、県内各地に保健所、病院などがある。ここ衛生研究所は、これらの施設と連携をとりながら、公衆衛生上の試験、研究、検査などをすすめる機関。昭和36年に設立された。

研究機関にふさわしく、職員39人(研究職33人)のうち、理学、農学、医学、獣医学などの博士が7人(女性1人)いる。いわば頭脳集団だ。

研究体制は、主に染色体異常を研究する病理部、ウィルス研究のウィルス部、伝染病と食中毒の原因を究明する細菌部、イタイイタイ病の原因を究明する環境保健部の5部に分かれる。週1回、各部の勉強会を開き、最新の文献から知識を吸収している。

研究テーマには、伝染病研究などの永久的なもの、2~5年の一定期間のものほか、県の特異性に対処して進められるものがある。たとえば、富山新港貯木場周辺と立山の繩の発生と防止の研究がそれ。また、カドミなどによる環境汚染の生体影響の研究は、いまや永久的な研究テーマになっている。

研究員と実験器具、薬品、このほかモルモット、ウサギ、ネズミなどの実験動物がいる。変わったところでは、汚水をきれいにし、蚊の発生を防ぐとグッピーが飼われている。

日本脳炎や赤痢、食中毒などの発生が心配される夏季を迎えて、衛生研究所は忙しくなる。



▲県内に2台だけといわれる倒立位相差顕微鏡。昨年9月に購入され、いまだに見ることができなかった培養中の生きたままの細胞などを見れるようになった。(病理部)



◀ウィルスの免疫血清をつくるためモルモットから血液採取。(ウィルス部)

みんなの県政

1976・6・もくじ

ふるさと養護学校を訪ねる	1
家庭教育(幼児期)相談事業をはじめます	7
県民公園にこどもの国を	8
ふるさと・空から拝見・氷見市	10
住みよい生活環境を(環境週間 6/5~6/11)	12
余裕ある計画で夏山事故をなくそう	13
7月1日から更新免許証が即日交付になります	13
県内の地価は横ばい—ことしの地価公示価格	14
庄川に二本橋かかる—大田橋	15
物価と家計簿シリーズ No.36	16
トビックス4月1日~30日	18
県民の協力で献体運動を	20

からだは弱かったんです

からだは弱く病気の子どもは、留年を心配して逆に病気のなかりを遅らせたりしては、子ども達にとってとりかえしのつかないことになるかもしれません。そこで、病気を完全に治す、同時に教育のほうも、ほかの子ども達に遅れることなくうけることのできる学校としてつくられたのが、ふるさと養護学校です。

● 県立ふるさと養護学校は

- 病気を治しながら、一般の小・中学校と同じ教育がうけられます。
- いつでも入学でき、病気がなおったら、もとの学校にもどります。また、ここで卒業することもできます。ことし三月、三名の卒業生が全日制高校（うち県立は一名）に進学しました。
- ふるさと養護学校は、隣接の国立富山病院に入院している病弱な子どもの教育を行います。病院と学校が一体となっていて病気の治療と学校教育を行っているわけです。
- いま、ぜんそく、腎炎、ネフ



ローゼ、血液病、心臓病などの子ども達が入っています。これらに、リウマチ、糖尿



▶ 病室のある富山病院から看護婦さんに連れられて元気に登校
▲ 学校にはぜん息の子も多い、刺激性のガスの影響をふせぐガラス越しの理科学習



▼ みんなそろって器楽演奏



じつとしては体になお悪い 無理にならぬ程度の運動が必要▼

▲ 肋木につながるのも「養護・訓練」のひとつ 慣れると背中も痛くない



▲ ぜん息の子には腹式呼吸で呼吸器管を強化



● ふるさと養護学校を訪ねる

病などを加えた、国の指定する小児慢性疾患のばあい、入院費用は無料です。

● 国立療養所富山病院は

- 国立療養所古里保養園として設立されましたが、昭和四十四年に現在の富山病院と改まり、建物も四十八年に鉄筋の近代建築に変わりました。
- 小児科・内科・外科があり、小児科(五十床)には二名の医師がいます。
- 小児慢性疾患の療養は、体質改善を中心にした治療方針がとられています。
- たとえば、ぜん息児に対する減感作療法(アレルギーに対する抵抗力をつける)は、非常によい効果をあげています。その他の疾患でも、薬の副作用をさけながら、子ども



の発育に応じた適切な治療が行われています。

● 医療と教育を連けいするため

- 病院と学校は、次のように緊密な連けいをとって、治療と教育の効果を同時に高めるようにしています。
- ▽ 学校・病院連絡会 毎学期一回
- ▽ 学校・病棟連絡会 毎月一回開き、小児病棟内での生活指導

について協議します。
▽ 毎朝の連絡会 主治医の診断結果は、毎朝看護婦によって学校に連絡され、教室学習、病室学習、欠席など、その日の学習体制がきめられます。



体調のよくない子どもは病院に残って授業 体調の程度によって病棟学習(上)とベッドサイド学習(左)に分かれる 時間もやや少なめに

▼毎朝の連絡会 ひとりひとりその日の学習体制がきめられる



病院と連けいして

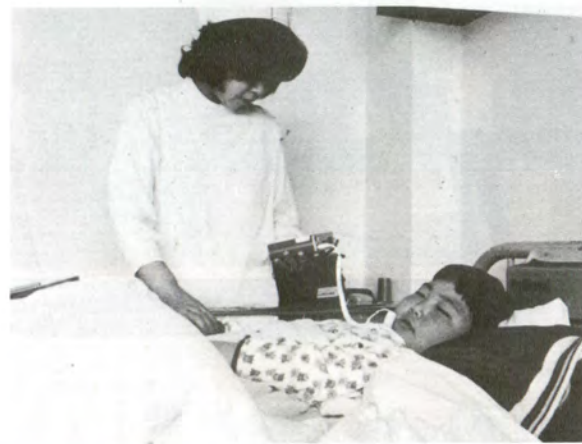


▲腎臓炎や血液障害の子には激しい運動は無理 そこで病室の中で体を動かすことができるベッド体操を 登校前の安静時間に検温と血圧測定 ひとりひとりの健康状態が学校に連絡される

児童・生徒の出身地 昭和51年5月1日現在



(数字は人数)



●ふるさと養護学校を訪ねる

娘は、現在、高校の一年生です。中学一年生の夏に発病、二年生の秋まで学校を休み、近所の病院で治療に専念していました。そのため学習進度はますますおくれ、不安な毎日を送っていました。たまたま近所の知人から、テレビで放映された「ふるさと養護学校」を紹介されました。いろいろ悩んだ末、思いきって入院入学をさせ、何とか義務教育を無事に終えることができたから幸いと思っていました。

ところが病院や学校生活に馴れるにつれて、身体は快方に向かい、先生方の熱心な指導のおかげで、学力をとりもどしてきました。その結果考えてもみなかった県立高校の受験にも、見事合格することができました。

毎日のたのしい高校生活をおくっている娘の姿を見るにつけ、この学校へ入れて本当によかったと感謝しています。

射水郡小杉町三ヶ 栗原 鈴子

明るさをとりもどした 私の娘

現在健康をとりもどし、三年生として学習に部活動に嬉々として活躍できることは、本人の幸福は勿論、家庭にも明るい雰囲気をもも出し出している。

ふるさと養護学校こそ、県下に数多くみつけられる慢性疾患の児童生徒に、幸福をもたらす学校であるという認識を一層深めることができた。

ふるさと養護学校に 生徒をあずけて

小矢部市立若林中学校長 中川 俊雄

本校生徒の上田邦男君は、学習成績優秀で性格態度も大変すぐれ他の模範とされていたが、幼少の頃から持病の喘息に悩まされていた。入学した昭和四十九年には、欠席日数も日増しに多くなり、秋末には特に激しい発作が頻った。

そのため明るく性格の本人も次第に沈み勝ちになり、両親の心痛も大きく、家庭にも暗い生活が続くようになった。

十一月、通院の医師から、学びながら療養のできるふるさと養護学校を紹介され、半信半疑ながら同施設を見学した。上田君としては、同級生や教科のことを考えると、なかなか転校にふみまることができなかったが、翌五十年一月十日転校を決定し、治療をうけることにした。

入学当時は、不慣れのため淋しい思いで生活したそうだが、完備した学校の施設設備、行きとどいた医療機関、親身にも優る先生方のご指導により、次第に快方に向っていった。

数多い学校行事、生徒会活動には、精魂を打ち込んで積極的に活躍したそうだ。又毎日の規則正しい生活と「養護・訓練」の適切な指導によって、激しかった発作も殆んどなくなり、ことし三月二十七日退院し、本校へ復帰したのである。母親と同伴で学校を訪れた顔面には、隠しきれない喜びの表情が満ち溢れていた。

子どもの病状に応じた教育を

ふるさと養護学校を訪ねる



普通の学校と同じ教科学習
普通の小・中学校と同じ教科書を使い、同じ授業を行います。ただし子どもの負担を軽くするため、一時限の授業時間は、小・中学校とも四十分です。
ひとりひとりのその日の病状によって、次の三つの指導形態をとります。
(1) 学校で五〜六時間の授業をうける子ども。
(2) 病院の学習室で、三時間程

度の授業をうける子ども。

(病棟学習といえます)

(3) 自分のベッドで三時間の授業をうける子ども。

(病室学習といえます)

一学級の定員は八名ですから、手厚い個別指導がうけられます。また、病気療養のために勉強が遅れている子どもには、落ちこみを埋めるような配慮がされます。そのほか、病気がなおって元の学校へもどっても、すぐ友達

と交わっていきけるよう、必要に応じて特別指導を行っています。中学三年生の場合、この学校で卒業し、健康が回復すれば普通の高校へ進学するか、就職することにになります。

養護・訓練でからだをきたえる
長い間入院していたり、死ぬほど苦しい発作におそわれたり、突然、病気が告げられたりしたときの子どもは、どんなに打ちひしがれていることでしょう。学校では、こうした子どもたち

ちに、病気を克服する強い心、病気がたたかう生活のしかた、あるいは病気を抑制しながら生きていく技能を身につけさせるために、「養護・訓練」という普通学校にみられない指導を行います。これによって、伸び盛りの子どもの身体・精神の発達が遅滞しないようにするわけです。成人の病状と違って、発達期にある小児患者では、病気のものをなおすためにも、心身の発達を促すことが大切だといわ

(1)在籍児童生徒数(昭和51年5月1日現在)

項目	学年別	在籍		総計
		男	女	
小学部	1	1	0	1
	2	2	1	3
	3	1	1	2
	4	3	2	5
	5	5	0	5
	6	1	3	4
計	13	7	20	
中学部	1	3	0	3
	2	3	2	5
	3	3	2	5
	計	9	4	13
総計	22	11	33	

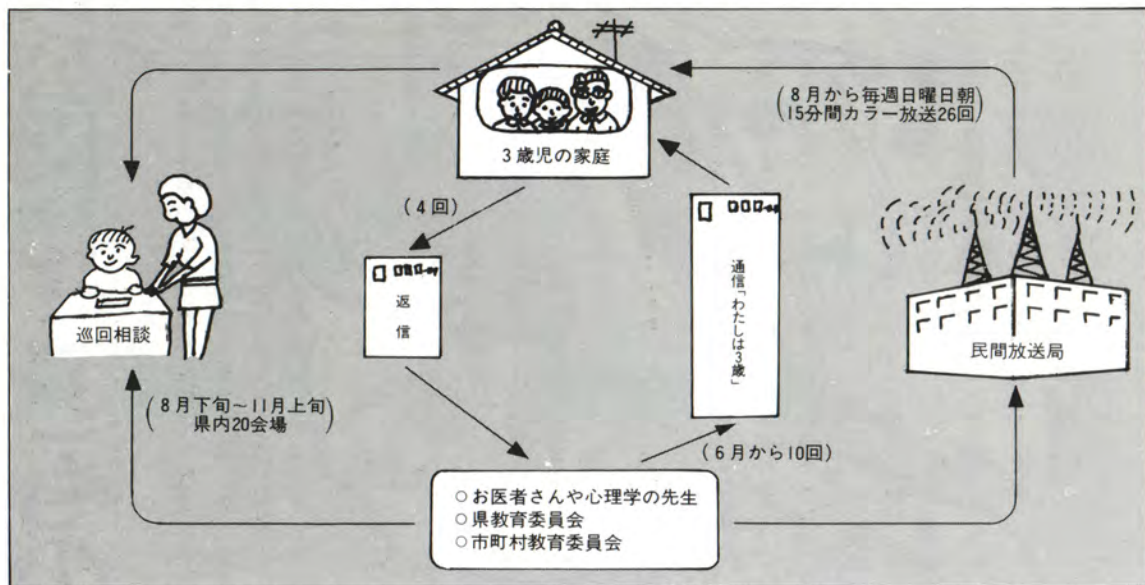
(2)在籍児童・生徒の病種(昭和51年5月1日現在)

病種	割合
喘息	40%
腎臓病	36%
心臓病	6%
血友病	6%
リウマチ	3%
自閉症	3%
その他	6%

(3)復帰等の状況(昭和49年4月19日~51年5月1日)

○復帰11名 ○卒業6名(うち高校進学3名)

お茶の間と結ぶ 家庭教育(幼児期)相談事業をはじめます



●よい家庭からよい子が

最近、両親と子どもだけという家庭や共働き家庭が多くなってきました。祖父母の助けなしに、また働きながら子どもを育てるのは大変なことです。なかでも、はじめてのお子さんを育てておいてお母さんには、育児についての悩みや気がかりが多々あることでしょう。

しかし、そこには大きな喜びがあります。無限の可能性を秘めながら成長しつづける子どもは、夢の宝庫、人生の希望です。

この子どもを、健やかに育てるためには、昔から「子どもは母親の後ろ姿から学ぶ」といわれています。この場合の「後ろ姿」とは、子どもを包む家庭のふんい気を意味しているでしょう。よい家庭こそが、子どもを健やかに育てる一番のものでしょう。

そこで県教育委員会では、重点施策のひとつに「家庭教育の振興」を掲げ、とくに乳幼児期を中心とした、家庭教育振興のための施策を進めています。そしてそのひとつとして、ことしも「家庭教育(幼児期)相談事業」を始めます。

●三歳児の両親を対象に「届ける社会教育」を

家庭教育相談事業は、「家庭教育をよりよくするための親の学習」です。第一子である三歳児(昭和47年4月2日~48年4月1日生れ)の両親を対象に、医学や心理学

などの先生方の協力で、育児について一緒に考えていこうとするものです。

この事業は、次の三つの方法を組合せて行います。いわゆる「届ける社会教育」として、茶の間と結んで進めていきます。

①はがき通信相談

初めて三歳児をもたれたお母さんや保護者のお宅へ、はがき又は封書による通信、わたしは三歳」を10回お届けします。

②巡回相談

お子さんを育てていくうえで、直接相談してみたいと考えておられる方のために、専門の先生方が県内20か所(兵庫県、西各10会場)を巡回し、個別に面接して相談に応じます。

③テレビ放送

この事業は、アンケート調査によって皆さんから寄せられた質問やご意見を集約し、その後はかき通信やテレビ放送に反映するしくみとなっています。対象者の皆さんが、この相談事業を十分活用いただくようお願いいたします。

詳細については、県教育委員会社会教育課(☎0764314111内線281)へお問い合わせください。

県民公園に「子どもの国」を

子ども達がのびやかに、すくすくと育ってほしい。こんな願いをこめて、いま、子ども達のための総合公園をつくる構想がすすめられています。

場所は、置県百年をめざして造成中の「県民公園」のA地区（太閤山ランド）。豊かな自然の中で、子ども達が自由に活動できるよう計画されています。

県民の皆さんのご協力を得るために、昭和五十八年オープンをめざすこの「子どもの国」の概要をお知らせしましょう。

四つの池を囲む県民公園A地区に四つのテーマをもって――

県民のだけれどもが気軽に集い、楽しみ、自然に親しんでもらおうという「県民公園」。

場所は富山市、小杉町、婦中町、砺波市などにまたがる県中央部の丘陵地帯です。昨年四月には、D地区の「頼成の森」が開園、これを含めた約二、五〇〇ヘクタールの土地が、県民公園の全体区域です。

「子どもの国」は、この県民公園の入口にあたる丘陵地、四つの池を囲むA地区（太閤山ランド）内につくられます。

に遊べる遊園。新しい友達との交流や、さらに友情を深めあえる遊園。また家族とともに遊び、楽しめる遊園――「子どもの国」は、このような遊園をめざしています。

また、「子どもの国」には四つのテーマがあります。子ども達が「挑戦」へゆとり「対話」創造」の四つの課題に、それぞれの能力を發揮できるように計画されています。

「挑戦」へゆとり」の場としては、遊具の道、水の道、芝生の広場。〈対話〉創造〉の場としては、キャンプ場、子どものポリスなど。

これらの施設が、太閤山ランド西側の谷約二七ヘクタールにつくられます。池と一体になっ

たようなプール広場。谷の一番奥まったところにつくられるこどものポリスとキャンプ場。これを結ぶ芝生広場を貫いて、遊具の道と水の道が走ります。

つぎに、これらのひとつひとつについて説明しましょう。

- あちこちにこんな遊び場が
- 一、プール広場
 - 造波プール、スライダ―（滑り台）プール、幼児プール、カスケード（滝）プール、競用プールからなっており、収容能力は、約三〇〇〇人です。シーズンオフは、ボート遊びや水辺の公園として利用されます。
 - 二、芝生広場
 - 子ども達が大地と空の広がりの中

中で、思いっきりかけまわる、跳びはねる、寝ころがる。こんなことができるのが芝生広場。約四万平方メートルもあります。また、この広場には次の施設もつくられます。

（一）遊具の道

大蛇を思わせる長さ四八メートルの遊具の道。大蛇の腹の中にはネット、木材、ロープなどをつくったたくさん遊び道具があり、くぐったり、這ったり、よじ登ったり、子ども達はフリーに探検気分を味わうことができます。

（二）幼児コーナー

ちっちゃな子どもの遊び場には（一）歳～三歳児コーナー
ベビー迷路・砂場・遊具の輪

（三）運動場コーナー

八〇mのトラックの内側にゲーム面、立体迷路など。
（四）砂の造型コーナーとジャブジャブ池。

（五）塔の巨大遊具

高さ八メートル。登って風の音を聞き、空を仰ぎ、大地を見おろす見張り塔です。

（四）水の道

石だたみの上を流れる小川の中を、裸足でキャンプ場へ向かう、芝生広場のオアシスです。

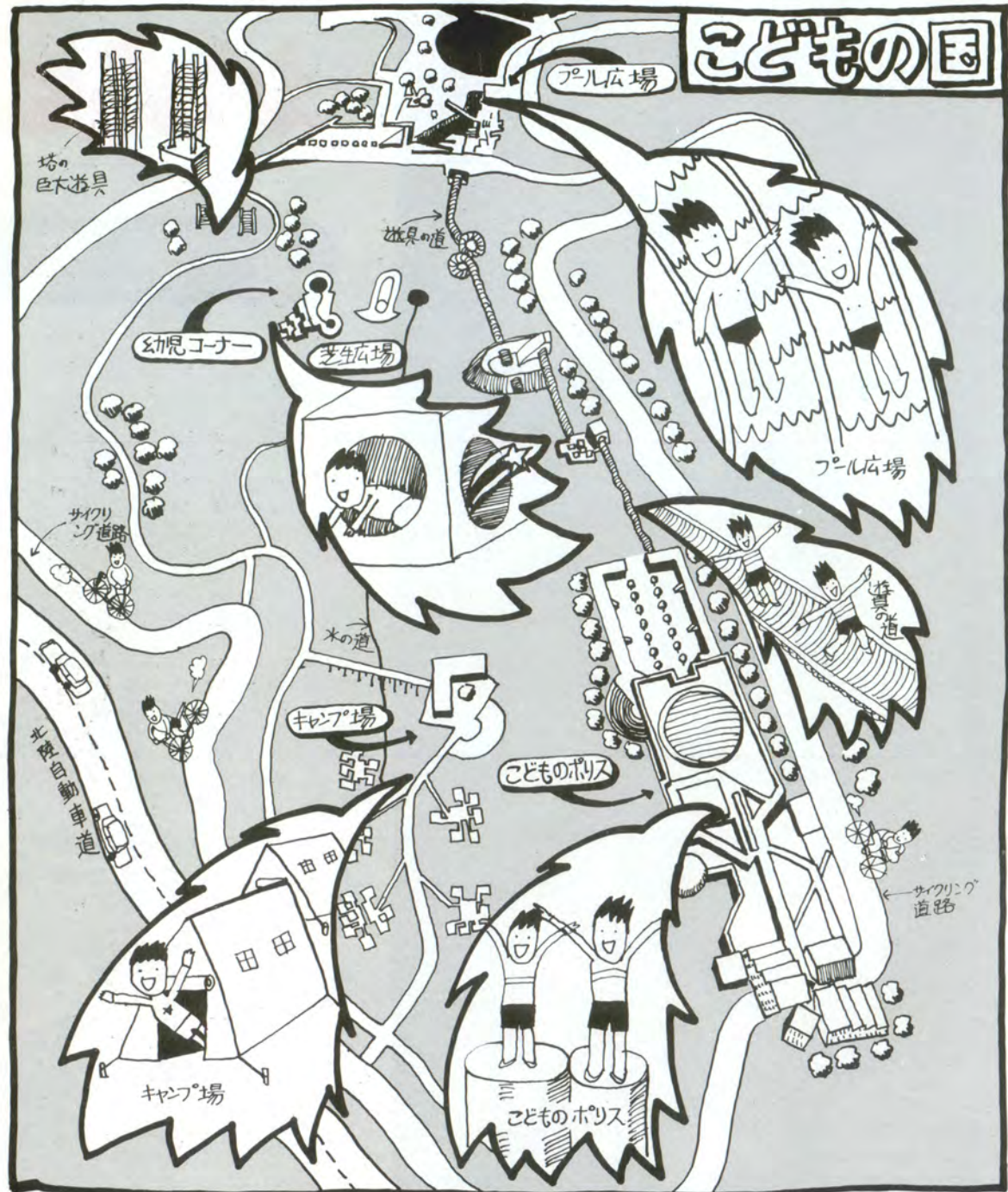
三、キャンプ場

四、子どものポリス

遊具の道の終点に、子ども達が自主的に集団生活を楽しめる街ができます。子ども達が自分で組み立てて作るこどもの町や、こども専用のホテルをはじめ、遊びの広場、こども劇場、レストラン、アトリエ、プラネタリウムなど、文字どりの「こどものポリス」です。

ここのは、冬でも、雨がふっても、楽しく活用されるでしょう。以上が「子どもの国」のあらましです。

子どもの夢を育てるこれらの施設が、一部を除いて完成するのは、昭和五十八年春の予定です。県民公園A地区（太閤山ランド）は昭和四十九年度から一部建設が始まっており、「子どもの国」の施設も、完成したもののから順次利用していただくことになる予定です。



〈県民公園は4つの地区〉

<p>A地区</p> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆとり 対話 挑戦 創造 <p>太閤山ランド</p> <p>太閤山ランドには次の5つのゾーンを計画しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. シンボルゾーン 2. こどもの国ゾーン 3. スポーツゾーン 4. 動植物ゾーン 5. 自然ゾーン 	<p>B地区</p> <p>テーマ</p> <p>緑に親しむ</p> <p>県民ゴルフ場</p> <p>誰もが安く手軽にゴルフを楽しめるパブリック制のゴルフ場を造成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ゴルフコース(18ホール) ● クラブハウス ● 練習場 ● 駐車場 ● その他管理施設など
<p>C地区</p> <p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 親しむ 学ぶ 自然 探る 育てる <p>自然博物館</p> <p>自然博物館は次の3つの目的を基本にして計画しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然探勝とレクリエーションの場の提供 2. 自然の学習と研究の場の確保 3. 動植物の保護と景観の保全 	<p>D地区</p> <p>テーマ</p> <p>森林に憩う</p> <p>頼成の森</p> <p>県民各層が気軽に森林と接触することによって、健康でうらやましい生活ができるよう、保健休養林として整備し、野外レクリエーションの場を提供することを目的として建設されました。</p>

ふなと

—空から拝見

氷見市



氷見市は、定置網漁法発祥の地として、海と共に発展してきた。びっしりと定置網が張られた沖合に、冬にはブリ、夏にはマグロの、勇壮な網起こしの姿が見られる。また、新しく、獲る漁業から育てる漁業へと発展するため、県営栽培漁業センターの建設が進められている。

市内を南北に走る国道百六十号線に沿って市街地が形成され、その東南には白砂青松の続く松田江浜、北東には屈曲して変化に富んだ灘浦海岸があり、静と動の対比を見せる。そして海をへだてて見る、立山の切り立つような姿が圧巻だ。

縄文遺跡の大境洞窟、朝日貝塚、各地に点在する万葉遺跡など、市内には貴重な文化財も多い。かけがえのないこれらの文化財と美しい自然との調和の中で、氷見市の新しいまちづくりが進められている。

住みよい生活環境を

環境週間六月五日～十一日

「環境問題」——これほど私たちの生活に関係が深く、反面、一問一答の形で環境問題について考えよう。

環境を守るといふことは、基本的にはどんな心がまえから始まるのでしょうか。よい環境を保つことは、私たちがもっている自然を守る心から始まると思います。

人間をはじめすべての生物は、自然の恵みをうけ、自然のしくみの中でくらしをしています。いわば、自然はすべての生物の母です。しかし私たちは、自然の恵みに慣れ、自然は無限にあるとの錯覚から、すい分自然の秩序をそこなうて来りました。無定見な森林の伐採、工場からのばい煙や汚水の排出などをくり返して来たのです。空や川や海の汚染は、生物の生息をあらゆるくしただけでなく、私たちの心身をも侵しつづけています。

このようことから国連の「環境宣言」ともなったわけですが、林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

自然の効用は尽きません。生命の維持に不可欠な酸素を供給してくれるのは緑色植物です。また、緑色植物でつくられた森林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

運転者の皆さんへ

七月一日から更新免許証が即日交付になります

富山県の運転免許人口は、昭和四十五年以来毎年約一万五千人ずつ増加、ことし二月末で延べ三十五万人ラインを突破しました。

このように年々増加する免許人口に対し富山県運転免許課(県運転教育センター内)では、七月一日から更新者に対する免許証を即日交付することになりました。

これまでは運転免許課で更新手続をし、おおむね十四日後に管轄の警察署で新しい免許証を受けとっていましたが、七月一日以降は、更新手続のあと二時間の講習を受けると新しい免許証がその場でもらえます。所要時間は約半日、大変便利になります。受付時間と手続の順路は表のとおりです。なお、運転免許課の所在地等は次のとおりです。

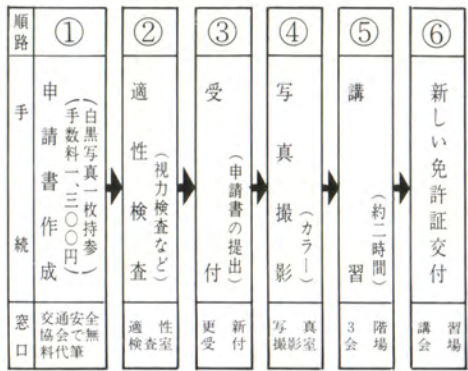
富山市高島 県運転教育センター内
0764・41・2211
富山駅発中滑川、泊方面行バス 新針原下車徒歩10分(逆方向を含む)

●免許証更新の受付及び講習時間 (日・祭日を除く)

更新受付時間	講習		
	回数	開始	終了
午前部 8時30分～9時30分	1	9.00ころ	11.00ころ
	2	9.30 "	11.30 "
	3	10.00 "	12.00 "
午後部 1時00分～1時45分 (土曜日は除く)	4	1.30 "	3.30 "
	5	2.00 "	4.00 "

1. 即日交付のため、受付時間内に③の受付が完了しないと更新できませんので、時間に余裕をもって来場ください。
2. 県外から最近本県に転入手続をされた方については即日交付できない場合があります。

●更新手続の順路



私たちは、日光、大気、水、土、動植物など、自然の微妙なつり合いを正しく理解し、自然の賢明な利用に向かわなければならぬです。環境を守る心は、自然を大切にすることにほかならないではないでしょうか。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

自然の効用は尽きません。生命の維持に不可欠な酸素を供給してくれるのは緑色植物です。また、緑色植物でつくられた森林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

自然の効用は尽きません。生命の維持に不可欠な酸素を供給してくれるのは緑色植物です。また、緑色植物でつくられた森林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

自然の効用は尽きません。生命の維持に不可欠な酸素を供給してくれるのは緑色植物です。また、緑色植物でつくられた森林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

自然の効用は尽きません。生命の維持に不可欠な酸素を供給してくれるのは緑色植物です。また、緑色植物でつくられた森林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

昨夏は史上最高の遭難が 夏山事故をなくそう

夏山事故をなくそう

昨年の県内の夏山(八・九月)は、史上最高の遭難に見舞われました。期間中五七件の事故がおこり、遭難者数は死亡一五人、負傷三六人、救出一五人の計六六人。気象条件が平年よりすぐれていたにもかかわらず、このような大量の遭難がおこるのは、安易な考えによる夏山登山の事故が多いという特徴を端的にあらわしています。

夏山は他の季節と比べて登山しやすいために、勢い、実力以上の無理な山行になりがちです。登山バスによつてアプローチが短縮されるため、あそこへも、ここへもという欲を出しがちです。また、ポビユラーな山では登山者が列をつくるため、他人についていく登山しがちです。このように、夏山の入りやすさからくる無理な計画、他人まかせの計画が事故につながりやすいのです。

夏山といえども登山コースや谷、沢などには多量の残雪があり、固い雪渓となっています。この雪渓は、ブロック(雪塊)の崩壊がおこったり、

環境保全のためのもう一方の努力は、汚染の防止、つまり公害防止に向けられています。富山県ではこの公害防止の努力が、昭和四十年頃から始まり、幸い、ここ数年の間に、大気、水質などの面で、着実に成果を挙げて来ています。対策の内容を紹介しましょう。

(1)水質環境基準のあてはめ 県内の主要河川と富山湾の二十九水域に環境基準をあてはめ、昭和五十五年度末までには全水域に達成されています。

(2)地下水採取条例 県内の一部の地域では、地下水位の異常低下や海水による地下水の汚染などが起っています。放置すれば、地盤沈下につながるおそれもあるため、県ではことし三月、一定の地域で地下水の採取を規制しようとする条例を制定しました。

(3)新ブルースカイ計画 澄んだ空をとりもどし、公害のない安全な生活環境をつくるため、四十八年に県のブルースカイ計画がつけられました。今年度のブルースカイ計画は、さらにきめ細かく、より科学的な計算のもとに作られ、硫酸酸化物の大幅な減少を図ろうというものです。昭和五十三年度に県内

クレバス、シュルンドウ(岩と雪渓のすき間)が大きく開いていたりして危険度が高く、毎年、夏山事故の半数が雪渓でおこっています。ことしも、立山を中心に七〇万人を超える入山者が予想されます。昨夏のような事故の多発を防ぐためには、登山者自身の心構えが大切です。山をよく知り、パーティの実力をよく知って、無理のない行動計画をたてましょう。次のような基本的なことを確実に守って下さい。

入山前 ●パーティの中で一番弱い人に合わせた計画を ●家族、勤務先、学校に連絡しておく ●ほか、県警本部外勤課と

行先地の警察署に計画書の提出を ●防寒具、雨具、着換え、予備食を含めた十分な食料の携行を ●入山中 ●気象を確かめ、行動は慎重に、不時の場合は引き返す勇気を ●落石に注意し、岩石を落とさないように ●雪渓、岩場などの危険な所の通過には、安全を確認し、パーティ全員で協力を

事故がおきたら ●安全な場所へ避難、遭難者の応急手当をして安静、保温に努める ●遭難状況を早く山岳警備隊、山小屋に連絡し救助を求め、また付近のパーティに協力を求める

夏山といえども登山コースや谷、沢などには多量の残雪があり、固い雪渓となっています。この雪渓は、ブロック(雪塊)の崩壊がおこったり、

また鳥や獣については、自然のつり合いを保つためにも、鳥獣保護区や休猟区を設け、保護に努めています。とくに県鳥であり、国の特別記念物でもある「ライチョウ」の保護には、立山でのスキー規制などの対策をうち出しています。

自然の効用は尽きません。生命の維持に不可欠な酸素を供給してくれるのは緑色植物です。また、緑色植物でつくられた森林は、鳥獣、昆虫のすみかであるばかりでなく、木材資源として、また水を涵養し洪水調節をするものとして、私たちの社会に役立つています。

富山県では、自然を守るためにどんな施策を進めていますか。富山県では、県内のすぐれた自然や景勝地を、「富山県自然環境保全地域」や「県立公園」、「県定公園」に指定し、その保全と活用を努めています。

県内の地価は横ばい

——ことしの地価公示価格

ことしの地価公示価格が、四月一日付の官報や新聞で発表されました。

この地価公示価格(別表)で県内の地価の動きをみると、平均価格(昨年と調査地点が変った十地点を除く)

(一四六地点)は昨年比〇・二%の上昇という結果がでています。しかし、地点別にみると、上昇一九地点、下落四地点で、残り一二三地点は全く値動きがありませんでした。これを平均八・一%も下落した昨年の公示価格の動向から考えると、県内の地価は横ばい状態にあるといえます。

次に対象地点の多い市部の地価を用途別にみてみましょう。住宅地の平均価格は富山市が二二、八八〇円と最も高く、次いで魚津市の二一、九〇〇円、高岡市の二〇、二〇〇円が続いています。但し魚津市は二地点の平均

これを富山市を一〇〇とした指数で見ると、魚津市九六、高岡市八八となり、黒部市が五四で最も低くなっています。

また、各市の住宅地の最高価格は、富山市舟橋南町が六一、五〇〇円、次いで高岡市本丸町が五五、五〇〇円、魚津市釈迦堂の三二、〇〇〇円となっています。

商業地については、富山市総曲輪が九三、〇〇〇円、高岡市末広町が六五、〇〇〇円、氷見市比美町が一〇八、〇〇〇円の順になっています。

この地価公示は、県民の皆さんに地価水準についての正しい知識をもたせていただくため、毎年一回(一月一日時点)、標準的な土地(標準地)を選定して行われます。また、土地取引の際には、公示価格を目安に取引するよう努めなければなりませんし、公共用地の取得価格もこれを基準として算定されます。別表に示した公示価格のほか、公示地点の位置

図と周辺の状況を記載した書類が、対象地点の市町村役場にあります。関心のある方は、どうぞ自由にご覧になってください。

庄川に二本橋かかる

——太田橋——

金沢—富山を結ぶ幹線道路
国道359号、に



地元の小学生も完成を祝い、向こう側が在来の太田橋



庄川にかかる道路橋が二十一本になりました。河口から数えて九本目の橋、新太田橋が完成したのです。五月十五日には、中田知事らが出席して盛大な竣工式が行われました。

場所は、砺波市街から間近の、砺波市太田と安川の間。富山—金沢を結ぶ一般国道三五九号、通称音川線(富山—砺波)上の橋です。

ところでこの「太田橋」、実は二本あります。すぐ下流に在来の太田橋があり、二本の橋で砺波—富山(在来橋)と富山—砺波(新橋)の車の流れをさばっているのです。このような往復車線分離橋は庄川では二番目、県内では五番目の完成になります。

音川線は、県内の大動脈といえます。せんが、砺波平野と県都富山市を結ぶ重要な幹線道路。県民生活の広域化とともに、太田橋を走る商用車、家用車の数がどんどん増えています。またこれに伴い、歩行者、自転車の通行も危険にさらされるようになりました。このため、新しい太田橋の架橋となったのです。

県では、さらに、造られてからすでに三十八年経つ在来橋が、将来使えなくなること予測して、新橋を拡幅し、二車線が確保できるよう設計してあります。これからの橋や道路には、将来の必要に対応できるこのような工夫が必要でしょう。

昭和四十八年一月から工事に始まり、五億五、五〇〇万円の費用が投じられました。全長は在来橋と同じ四四七メートル、砺波地方の産業文化の発展に役立っています。

県内の公示価格

(156地点 1㎡当たり)
更地価格
昭和51年1月1日時点

【富山市】			51年 前年比変動率(Δ印紙下)			51年 前年比変動率(Δ印紙下)			51年 前年比変動率(Δ印紙下)		
◆住宅地	51年	前年比変動率(Δ印紙下)	◆市街化調整区域	51年	前年比変動率(Δ印紙下)	◆住宅地	51年	前年比変動率(Δ印紙下)	◆市街化調整区域	51年	前年比変動率(Δ印紙下)
舟橋南町7-18	61,500	0	呉羽野田字村巻246-2	1,900	0	本丸町9-24	55,500	0	太田字中村2838-1外	5,500	0
四方西岩瀬字萩野235	5,900	0	古沢字上東野6846-1	5,600	0	江尻字村中728-1	16,000	0	答野出字西古川原田1140外	5,500	0
城川原字屋敷31-1外	13,300	0	下飯野字早稲田194-1外	5,500	0	古定塚6-10	24,000	0.8	東石堤字屋敷田414外	8,500	0
大江干91	12,300	0	羽根字三歩一割1177-1	11,000	0	伏木矢田5-30	12,300	0	佐野字善津島1222-5外	13,500	0
呉羽町字三外刈4937-3外	18,700	0	水橋開発字水ア七川735-5	7,000	0	野村383-3	18,700	1.1	中田上麻生字宮嶋1218-1	5,200	0
北代字布巾4514-2	15,300	0	月岡新字藤塚割99-2外	9,700	0	波岡130-6	14,300	0	【新湊市】		
蓮町字平均割3-1	11,700	0	【魚津市】			神主町40	23,000	2.7	◆住宅地		
豊田字北代割1-1外	16,600	0	◆住宅地			永楽町8-13	19,000	0	三日曾根20-9	21,500	0
秋吉字台割136-11	22,000	0	釈迦堂1-909	32,000	-	神主町40	23,000	0	八幡町3-4-14	21,300	0
石坂字鶴見2119-2外	17,600	0	吉島字五十里2479-4	11,800	2.6	大野254-4	27,000	0.7	海老江練合141	5,600	0
中甲字東割242-2外	10,500	-	◆商業地			赤祖父225	23,500	0	◆商業地		
公文名字東田割26-1	19,200	4.3	中央通り1-7-11	100,000	Δ2.9	木津1324-7外	23,000	2.2	立町7-18	100,000	0
高屋敷字上り立割719-14	16,200	0	【滑川市】			三女子87-2	14,700	0	本町2-5-15	35,800	0
水橋町字大町544-6外	8,300	0	◆住宅地			伏木本町9-11	15,900	0	◆津工業地		
森字五方割705-7	11,700	0	下小泉町105-1外	25,300	0	伏木古府2-6-27	19,000	0	庄西町1-28-25	26,000	0
長江357-1	20,800	0	高月町149	3,800	0	下牧野字江又木1535-1外	11,000	0	堀岡明神新字西ノ開47-1	6,800	0
中島3-7-28	18,500	0	◆商業地			中田字移田野48-2外	11,000	0	◆工業地		
下新本町6-15	19,800	0	下小泉町336-9外	60,500	0	戸出町3-3-32	15,500	0	八幡町3-18	10,500	-
開字藤四郎辻割10-8外	16,600	0	【黒部市】			◆宅地見込み地			◆市街化調整区域		
粟島町3-8-2	18,500	0	◆住宅地			木津572-1	19,000	-	松木字川除2059-3	8,700	0
向新庄189-1	19,900	0.5	◆商業地			◆商業地			【氷見市】		
五福字早稲田5683-2	20,800	0	中野道字早稲田3-2外	14,500	0	◆住宅地			◆住宅地		
新庄新町字銀納屋敷1-17	20,000	0	生地神区304-6外	10,400	2.0	◆商業地			◆市街化調整区域		
二口町字山倉割233-1	18,800	0	◆商業地			◆商業地			二口字光明寺2936-9	26,300	0
下堀字神田割86-4	18,800	0	三田市字桜枝3117-1甲外	86,000	0	◆住宅地			◆市街化調整区域		
西公文名4-10	29,000	0	【婦中町】			◆住宅地			串田字西大坪1756	2,200	0
堀川小泉町1-12-26	37,300	0	◆住宅地			◆商業地			【大島町】		
西中野町1-2-14	38,300	0	速星352-5	13,600	2.3	◆住宅地			◆住宅地		
長柄町2-6-5	38,800	0	長沢字中町4200-2	10,400	0	◆商業地			◆商業地		
布瀬町字黒免割590-4	22,500	0	下善田67-1外	12,400	-	◆住宅地			◆市街化調整区域		
大町字道成割127-6外	19,000	0	◆舟橋村			◆工業地			加茂字太子田3166外	8,300	0
奥田寿町8-3	40,800	1.2	◆市街化調整区域			◆住宅地			白石字中ノ原1480-1外	6,400	0
磯部町2-2-9	51,000	0	竹内236	7,750	Δ0.6	◆住宅地					
雄山町4-2	35,000	0	東芦原字中沼327-2外	2,730	Δ2.5						

県民所得でみる富山県

昭和49年度富山県民所得推計結果から

図3 県民分配所得の構成比の推移

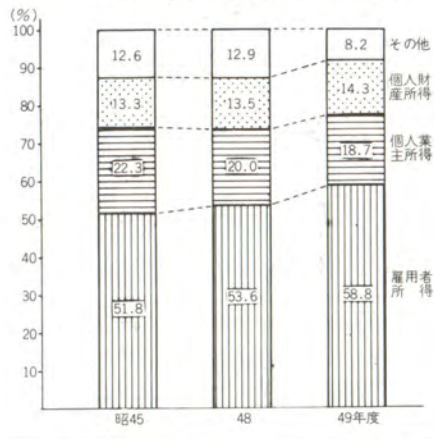


図1 経済成長率の推移

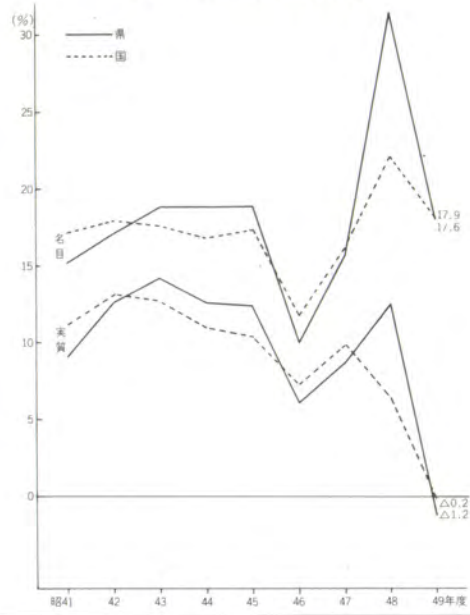


図4 1人当り県民(国民)所得の推移

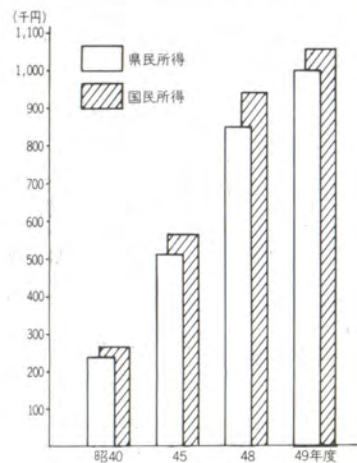
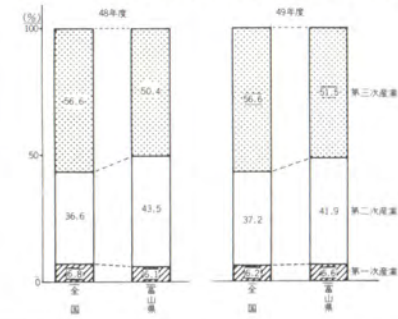


図2 全国と富山県の産業別構成比較



富山市の品目別価格(4月分)

品目	銘柄	単位	価格(円)	3月からみ た上昇率(%)	品目	銘柄	単位	価格(円)	3月からみ た上昇率(%)
食パン	普通品	1kg	282	0	みそ	並、袋入(1kg入)	1袋	227	1.8
即席ラーメン	即席中華めん袋入り	100g	47	0	砂糖	上白	1kg	278	△3.1
あじ	まあじ丸(長さ約15cm以上)	100g	100	14.9	レモン	1個約110g、「サンキスト」	1kg	403	△4.5
さば	丸(長さ約25cm~35cm)	100g	31	△8.8	バナナ		1kg	190	△5.0
いか	するめいか	100g	85	△20.6	ちり紙	白ちり3号、クレープ付	800枚	157	0
牛肉	中	100g	325	0	せんたく用洗剤	合成洗剤、粒状箱入(2.65kg入)	1箱	653	0
豚肉	中	100g	195	0	ペニヤ板	ラワン材、普通合板、JAS 2種1等(182cm×91cm×2.7mm)	1枚	345	0
ハム	プレスハム、上	100g	178	0	ワイシャツ(混紡)	カッター、ポリエステル混紡ブロード80番手、白、普通品	1枚	2,100	0
牛乳	加工乳(200cc入)月極め	1本	51	0	せんたく代	綿、ワイシャツ(カッター)配達、料金後払い	1枚	108	0
鶏卵	1個約60g	1kg	322	△6.1	灯油	白灯油、詰替売り、配達	18ℓ	740	0
キャベツ		1kg	308	118.4	プロパンス	体積売り・一般家庭用	10m ³	3,060	0
ほうれん草		1kg	189	△5.0	自動車	無鉛ガソリン現金売り	1ℓ	113	0
大根		1kg	211	90.1	理髪料	大人調髪(洗髪を含む)	1回	1,675	0
大豆	黄白豆	100g	31	6.9	パーマネット代	コールド(セットを含む)	1回	3,825	0
しょう油	濃口、特・びん詰(2ℓ入)「大手銘柄」	1本	430	0	パンティスッキング	ナイロン100%、プレーン・サイズM、15~20デニール	1足	200	0

注・生鮮食料品は上・中・下旬の平均価格、その他の品目は中旬の価格です。△印は、マイナスを示しています。

私たち富山県民の所得(収入)はどのようにして得られ、また、どのように使われている(支出)のでしょうか。

今回は、この県民所得を個々の家計ではなく、富山県全体としてとらえてご紹介します。

●県民所得とは

—— 三面等価の原則 ——

県内の各産業の生産活動によって新たに生み出された物やサービスのうち、その生産に使用された原材料や機械の消耗などを差引いた純生産物の価値を県内純生産(生産所得)といいます。この各産業で生み出された所得は、生産に携わった労働者、会社などに賃金、利潤などの形で分けられます。これを県民分配所得といいます。つまり、家計の収入にあたるわけです。そしてその収入は、家計では消費に回されたり、会社では工場建設などのために使われます。これを県民総支出といいます。

ところで、県内純生産、県民分配所得、県民総支出は同じものを生産、分配、支出の三面か

らみているので、この三つは理論上等しくなるはずですが、これを三面等価の原則といいます。

●経済成長率とは

—— 実質はマイナス成長 ——

県民所得は、経済規模の拡大つまり経済成長を測るものとして使われます。そして経済成長の増加率のことを経済成長率といいます。四九年度の富山県の名目成長率は一七・六割でしたが、物価の上昇を差引いた実質成長率はマイナス一・二割となり、戦後初めてマイナス成長となりました。全国の経済成長率も名目で一七・九割、実質でマイナス〇・二割とやはりマイナス成長となりました。

このように、富山県、全国ともマイナス成長となつたうえに、名目と実質で大きな隔たりがあることは、インフレーション(物価上昇)と不況(低成長)が同居していることを示しているといえます。

●産業別純生産は

—— 高い第二産業の割合 ——

県内純生産は、一兆一〇八九

億八八〇〇万円で前年度に比べて一八・六割増加しました。産業別にみると、第一産業は七二・五億四六〇〇万円で前年度より二・七割増え、全体に占める割合は六・六割となりました。このうち農業が米価の引上げなどで大きく増えましたが、林業、水産業はそれほど増えませんでした。

第二産業は、四六五〇億八八〇〇万円で前年度より一四・四割増えましたが、全体に占める割合は四一九割となり、前年度より割合が低くなりました。ここでは全産業中、最も大きい割合を占めている製造業が増えなかったのが影響しました。第三次産業は五七・三億五四〇〇万円で、前年度に比べて二一・一割増加し、全体に占める割合も五・一割に高まりました。このうち、不動産業、通信業以外は賃金が上がったことなどによって順調に増えました。

本県の産業別の割合を全国と比べてみると、特に第二産業の割合が高くなっています。これは、工場が比較的多いからだと

いえます。

●分配所得は

—— 一人当り百万円突破 ——

県民分配所得は、一兆六四〇億二六〇〇万円で前年度に比べて一八・六割増えました。これは大きく個人(家計)、法人(会社)、財政(政府)に分けることができます。個人部門では賃金や(雇業者所得といいますが)家賃、利子(財産所得といいますが)などが増えましたが、商店などの自営業など(個人業主所得といいますが)は意外に増えませんでした。法人部門では不況が続く企業収益が悪くなったため、利潤が六三・八割も減りました。財政部門では国鉄、電々公社の赤字が響いて全体として赤字になりました。

この分配所得を赤ちゃんから老人まで含めた一人当り県民所得にすると、一〇〇万九〇八円となります。全国の一〇五万六四一八円と比べると低いのですが初めて一〇〇万円台にのり、所得水準が向上していることがわかります。

● 県政のうごき — 4月1日～30日

4月1日 ● 景気浮揚に公共事業早期発注

今年度の県政の重要方針のひとつは、公共事業の拡大による景気浮揚。この効果を高めるため、県は1日、公共事業の早期発注を図ることを明らかにしました。

この方針に沿って例年より早く10日に行われた土木部の第1回入札では、過去最高の36億8,117万円の公共事業を発注。4月中の発注額は、土木部が全予算の38.9%にあたる76億5,284万円、農地林務部が27.4%にあたる35億9,590万円にのぼりました。

4月1日 ● ドライバー献血スタート

“落とせスピード 落とすないのち いのち救おう献血で”……1日、県運転教育センター(富山市高島)でドライバー献血が始まりました。

これまでの献血は、県内の事業所や学校、街頭献血に頼っていましたが、事故などで増える血液需要をまかなうことができず、このドライバー献血となったもの。同センターへ免許取得、更新に訪れる1日約500人のドライバーに呼びかけ、初日は68人が、愛の献血車“宝くじ号”で献血を済ませました。

4月中の献血者数は913人、1日平均36.5人と目標を下回りましたが、同センターへ訪れる人が増える7月頃から上向きそうとのこと。「オートアナライザーで献血者が自分の健康状況を知ることできます」と、県献血推進協議会では多数のドライバー献血を呼びかけています。ドライバーの方、ご協力ください。

4月7日 ● 新ブルースカイ計画 53年度で硫黄分を0.44%に

県は、53年度を目標とした新ブルースカイ計画(硫黄酸化物環境保全計画)に基づき、対象となる県内187の工場、事業所と、硫黄物減少計画について協議していましたが、7日まとまりました。

このうち、富山・高岡公害防止計画地域にある117工場が使用する燃料中の平均硫黄分は、51年度0.61%、52年度0.51%、53年度には0.44%に減らされることとなります。またその他の地域にある70工場・事業所については、51年度1.13%、52年度0.94%、53年度0.74%と低減させられます。

4月8日 ● 富山医科薬科大の建設スタート

国立富山医科薬科大学の地鎮祭が8日、富山市杉谷の建設予定地で行われました。式典には平松学長や栗林副知事などが出席、くわ入れ式と玉串をささげ、待望の医科薬科大学建設がスタート。講義実習棟から建設にとりかかります。

4月9日 ● 魅力ある大学を郷土に一県高等教育機関整備企画推進本部が初会合

郷土に生きがいを求める最近の青年の意識をふまえ、魅力ある地方大学づくりを考えようと、今年度新設された高等教育機関整備企画推進本部の初会合が、9日県庁で開かれました。

会合には栗林本部長、小浜理事など全員が出席。第一のステップとして、県立技術短大を省資源、低成長の新しい情勢に対応して再編成、4年制への移行を検討するなどの話し合いをしました。

4月14日 ● 富山医科薬科大、初の入学式 第一期生200人を受け入れる

国立富山医科薬科大学の第一回入学式が、富山市内で行われました。式で平松学長から入学許可の宣言をうけた第一期入学生は、医学部98人、薬学部102人。学長告辞、来賓祝辞のあと、入学生代表の風間泰蔵君(医学部)が「福祉向上を目標にがんばりたい」と力強く答辞しました。



入学生を代表して答辞する風間泰蔵君

4月19日 ● 生涯にわたる教育を 今年度の県教委重点施策

県教育委員会は19日、生涯教育の推進を図ることを目的とした今年度の重点施策を発表しました。内容は

次のとおりです。

(1)社会教育…県民が必要に応じて学習活動、野外・レクリエーション活動、スポーツ活動、芸術文化活動ができるよう、場と機会の拡充につとめる。埋蔵文化財センターを12月までに完成させ、県立美術館の建設準備を進める。

(2)学校教育…とくに“ゆとり”のある教育の展開を図る。はじめて4教育事務所生活指導担当の指導主事をおく。

(3)家庭教育…教育機関と家庭との密接な連けいを図る。

4月20日 ● 緑化週間スタート、知事ら苗木配る 26日には八尾で県植樹祭

〈木を植えて、自然と対話のある暮らし〉

緑化週間が20日から始まりました。“家庭緑の日”の初日は、中田知事らが富山市など5市町の街頭で、県緑化センターでつくったサツキの苗木1万本を県民に配布。どの会場でもあつという間に配りつくされ、緑化意識の高さを見せていました。

週間の最終日26日には、八尾町平沢を中央会場として第27回県植樹祭が開かれ、中田知事らが県木タテヤマスギ3,000本の記念植樹をしました。



4月22日 ● 県内の森林は1,600億円分の働き 酸素供給、土砂流出防止などに

酸素の供給や土砂流出防止、保健休養などに1,600億円分に相当する働き——これは、緑化週間中の22日、県林政課がまとめた県内の森林の公益評価額です。内訳は水源かん養機能が360億円、土砂流出防止が437億円、土砂崩壊防止が51億円、保健休養149億円、野生鳥獣保護に20億円、酸素供給には558億円となっています。

本県の総面積42万5千haのうち、森林面積は22万4千haですから、森林1ha当たりの評価額は71万4千円になります。木材生産以外にもこのように大事な働きをする森林、県民みんなの手で大切にしたいものです。

4月23日 ● 技能五輪へ県選手6人

ことしの技能五輪全国大会に出場する県選手団の結団式が、23日県庁で行われました。

選手団は、内山団長ら役員4人と選手6人、皆川商工労働部長から内山団長に県旗が手渡されました。

大会は、去る5月21日から5日間東京都で開かれ、建築大工部門の沢井斉さんが3位入賞の成績をおさめました。



内山団長へ県旗の授与

4月26日 ● 担保力、信用力の補完を 県中小企業安定基金協議会が発足

担保力、信用力に乏しい中小企業の信用補完の充実と運転資金の短期融資制度の振興を目的とした財団法人・富山県中小企業安定振興基金協議会が26日スタートしました。

県民会館で開かれた設立総会には、栗林副知事、皆川商工労働部長はじめ、各業界の代表ら約20人が出席、理事長に栗林副知事を選びました。同協議会は、向こう5か年計画で、毎年1億円ずつ(県と業界が半分ずつ)出資、総額5億円で振興基金制度を設けようというもので、今年度は、県信用保証協会の信用保証限度額の拡大などを行います。

4月28日 ● 頼成の森へ18万人が入園 オープンから満1年

昨年4月28日に開園、満1年を迎えた県民公園“頼成の森”(砺波市)に、18万人が入園しました。——これは県治山課が28日まとめた数字で、マイカーでの来園が多く、家族連れやハイキングや若者たちの憩いの場、小・中学生の自然観察の場として県民に親しまれていることがわかりました。

入園シーズンは4月から11月までの8か月。月別では5月の47,112人が最多。日別の最高は5月5日の5,234人とのことです。

足りない富山医科薬科大の解剖用遺体 県民の協力で献体運動を

待望の国立富山医科薬科大学が開校し、この四月から一年生が誕生しました。県では、重要施策の一つとして大学の運営に協力していますが、その一つに「献体運動」があります。

医学部の解剖学実習に欠かすことのできない解剖用遺体を確保しようというものです。

解剖用遺体の確保には、①「引取者のない死体」を大学長が市町村長からもらい受ける ②「篤志(善意)により生前から予約された篤志家の遺体を、遺族の同意のもとに寄贈してもらう(献体)」の二つの方法があります。本県には、「引取者のない死体」がきわめて少なく、一方、医の倫理を問題にする立場から、生前から予約した篤志家の遺体によるのが理想的であるとされ

ています。富山医科薬科大学がよりよい医師を育てることによって今後の私達の健康に役立つであろうには、篤志家の遺体を寄贈する「献体」が是非とも必要なのです。

現在、「白菊会」など生前に献体を予約した篤志家の団体が全国の医科系大学に結成されています。北陸では金沢大学医学部を中心とした「しらゆり会」があります。富山医科薬科大学には「しらゆり会」支部の設置が予定されており、解剖用遺体は、「しらゆり会」から供給を受けることとなります。このため県では、「しらゆり会」と協力して献体運動を進めているわけです。

「しらゆり会」会員は、五十年末現在で七五六名、これまでに一二八名の方が献体されました。

しかし、富山医科薬科大学、金沢大学などが必要とする遺体を供給するためには、常時約六千名の会員が確保されていないければなりません。十分の一程度しか会員がいらないという実情です。

長い伝統をもつ東京大学医学部でさえ、ほぼ学生四人に一人(文部省基準では二人に一人)がやっとのことです。

このように確保のむずかしい献体ですが、待望の富山医科薬科大学で、本道の医師を育てるための良い教育ができるよう、県民の皆さんの深い理解とご協力をお願い申し上げます。



「しらゆり会」についてももっと詳しくお知りになりたい方は、ハガキで下記にご請求下さい。いろいろな資料と入会申込用紙をお送りします。

〒920 金沢市宝町13-1 金沢大学医学部気付
しらゆり会
☎0762-62-8151 内線234

〒930 富山市東田地方町1-5
富山県善意銀行
☎0764-31-2239

〒930 富山市新総曲輪1-7
富山県厚生部医務課
☎0764-31-4111 内線415

表2 「しらゆり会」会員数 (単位:人)

	富山	石川	福井	域外	計
正会員	169	297	99	20	585
準会員	4	3	-	-	7
献体者	37	78	11	2	128
退会その他	9	24	2	1	36
計	219	402	112	23	756

昭和50年12月末日現在

表3 北陸3県で必要とされる解剖用遺体の数

大学(学部)名	学生数(人)	遺体数(体)
金沢大学医学部	120	60
金沢医科大学	100	50
富山医科薬科大学	100	50
福井医科大学(予定)	100	50
金沢歯科大学(予定)	120	30
合 計	540	240

(注)文部省実習基準 医学部1学生当り1/2体 歯学部1学生当り1/4体

表1 金大医学部「献体」受入実績

年度	受入総数	篤志体数	篤志率
42	29(体)	0(体)	0(%)
43	35	4	11
○44	33	10	30
45	31	13	42
46	33	13	39
47	43	17	40
48	27	15	56
49	33	15	45
50	41	29	71

(注)○印は「しらゆり会」が結成された年度

公園や家庭を彩る

富山のチューリップ。かのこゆり



▲京都植物園には、富山のチューリップ球根約3万球が植えこまれ、カメラ撮影に写生に賑わっている。



▲特産富山のチューリップ球根をどうぞ!! 秋の県農業祭では、特急列車のお客さんに球根をプレゼント。

PRも盛んに
ご存知のように富山県は、花き球根の総合産地です。県産として有名なチューリップ、かのこゆりを主体に、ヒヤシンス、クロッカス、ムスカリ、シラーなどの球根が、国内はもとより、アメリカ、ヨーロッパへも輸出されています(表参照)。

これらの球根のほとんどが県外および海外向け。栽培農家にとっては、県外と海外での需要の伸びは大きな関心事です。

そこで県では、栽培農家と協力、あの手この手の富山産球根類のPRに努めています。そのいくつかを紹介しましょう。

耳新しいところでは、ことし二月に開かれた「おおよま国体」会場を採ったチューリップ。十月に開かれる秋季佐賀国体でも、県選手団がチューリップ造花を手にして入場、県花をPRしようとして企画しています。

また、国内の主要都市に、チューリップ、かのこゆりのモデル花壇をつくり、見て楽しんでもらうとともに、実際に家庭でも、富山県産の球根を植えてもらおうという試みがされています。このモデル花壇はすでに東京に二か所、札幌に一か所つくられています。そのほか、栽培農家が独自に球根を提供し、県産のチューリップ、かのこゆりの育っている公園が各地にあります。また、見てもらうだけでなく、植え方の指導もしようというキャンペーンが、東京と近畿の県人会の協力を得てすすめられています。

美しくかたかなの花き。日々の暮らしの中で、ふとこれらの花に出会うと、自然に心が和んでくるようです。皆さんの家庭でも、好きな花を植えてみませんか。

〔富山のチューリップ〕
雪深き越路の里、富山の春は、チューリップのつぼみのふくらみとともに訪れます。白雪の立山連峰を背に、富山平野を彩るチューリップ畑の美しさはたとえようもありません。大正七年、砺波に試作された球根は、その後五十年余の努力によって日本一のチューリップに育てあげられ、現在では四〇〇種類を栽培。富山の、そして日本のチューリップとして親しまれています。

チューリップはその花言葉のとおり「魅惑」「愛」らしい花です。明るくて、素直で、気どらない庶民の花です。昭和二十九



〔富山のかのこゆり〕
真夏の七月下旬からお盆過ぎまで次々と開花、赤と白の花は優雅でかたかな。とくに日本庭園の緑とよく調和して、すばらしい景観をよびます。

年には県花に指定されています。

昭和50年度花き球根出荷実績

種 類	作付面積	出荷球数	輸出球数
チューリップ	192.9ha	34,727千球	6,350千球
かのこゆり	28.6	2,468	1,265
クロッカス	7.4	2,421	1,310
ヒヤシンス	4.9	358	10
水仙	1.0	131	
アイリス	1.3	716	40
グラジオラス	0.4	255	
その他	4.6	485	60
計	241.1	41,561	9,035



街に緑を……

環境週間 6月5日～11日

みなさんの広報課から「お知らせ」

みなさんの広報課は、県庁の玄関の右側にあります。広報課は、県民のみなさんのご意見やご希望、ご相談を受け県政に反映する〈公聴係〉と、県の施策をみなさんに一日も早くお知らせする〈広報係〉があつて、みなさんと県とのパイプ役としての次のような仕事をしています。

●テレビ「みんなの県政」でお楽しみください。

*北日本放送（KNB）

毎週の日曜日、午前9時から30分間カラー放送
県政ふるさとめぐり、県施策を対談・座談会などでわかりやすく解説しています。

*富山テレビ（T34）

毎週の月曜日から土曜日までの毎日、午後5時4分から（土曜日のみ午後5時25分から）5分間カラー放送。

県からのお知らせ、郷土の伝統産業、県内の美術工芸品紹介、みなさんの声などをユニークに放送。

●月刊誌「みんなの県政」は毎月5日頃に発行
県政の施策の解説、生活知識などを掲載しています。

●新聞「みんなの県政」は4紙に登載

毎月の最終土曜日に、北日本・富山・読売・北陸中日の各新聞に、県政の最近の動きや身近なお知らせを載せています。

●ご相談ごとはお気軽に県民相談室へ

生活上のご相談、県政への希望、ご意見など、気軽に次の相談室をご利用ください。

富山県県民相談室(広報課内)

〒930富山市新総曲輪1の7 ☎(0764)31-4111

高岡地方県民相談室

〒933高岡市赤祖父211高岡総合庁舎内

☎(0766)21-9411

魚津地方県民相談室

〒937魚津市新宿10-7魚津総合庁舎内

☎(0765)24-5311

砺波地方県民相談室

〒939-13砺波市幸町1-7砺波総合庁舎内

☎(07633)3-5151